



一般財団法人 こども財団
リーゴ京命保育園
園長 菅野 里美



☆今月の様子☆

あっという間に2月も終わり、いよいよ3月です♪本格的な春に向けて、日差しも温かくなり、お散歩や戸外遊びが心地よくなりました。この一年を振り返り、一人ひとり、自分のペースで大きく、たくましく成長した姿に嬉しさを感じています♡今年度もこどもたちと楽しい思い出がいっぱいできました☆新年度からも今年度以上にこどもたち、保護者のみなさま、職員がドキドキわくわくできるようにさせていただきますね!!!



☆3月の予定☆

3日(火) ひなまつり会
4日(水) さくら・きくクラス懇談会
5日(木) 遠足
7日(土) 新入園児説明会
9日(月)~ 避難訓練
10日(火) 内科検診
12日(木) 救急対応訓練
28日(土) 卒園式



おたますくい
むずかしーなあ



もしもーし♪
わかりました!!!



ホッピング☆
なんかいとべるかなあ

おおきいキャベツ
できたよー♪

ぼくたちなかよし
ふたごだよっ♪

☆はじめての100か月の育ちビジョンについて☆

はじめての100か月の育ちビジョンとは妊娠期から小学1年生までの約100か月を人生の基盤を築く最も重要な期間と位置づけ、社会全体で子どもの健やかな成長とウェルビーイング(幸福)を支える為、こども家庭庁からの基本方針です。

- ① こどもの権利と尊厳を守る。
⇒全てのこどもに権利があります。こども一人ひとりの思いや願いを大切にしていきます。
- ② 『安心と挑戦の巡回』を通してこどものウェルビーイング(幸福)を高める。
⇒こどもは、おとなの『アタッチメント(愛着)』、『安心』を土台として、“遊びと体験(挑戦)”を繰り返しながら成長していきます。
- ③ 『こどもの誕生前』から切れ目なく育ちを支える。
⇒こどもの成長に応じた環境の変化が育ちの“切れ目”を生まないように、全ての関係者で連携して育ちを支えることが重要です。
- ④ 方針・養育者のウェルビーイング(幸福)と成長の支援・応援をする。
⇒こどもに最も近い存在の保護者・養育者がこどもとともに育つことができるように、様々な人や機会で支えていきます。
- ⑤ こどもの育ちを支える環境や社会の厚みを増やす。
⇒こどもや子育てに直接関わりがある人もない人も全ての人がこどもの育ちにとって大切な役割を担っています。

食育だより

3月号

🔍 きく・さくら組 みんなで♪ペッタン・ペッタン♪五平餅を作ったよ 🔍

保育園の給食には、郷土料理が出てきます。

例えば、どて煮・鬼まんじゅう・五平餅など・・・

今回は、こどもたちで五平餅を作ることになりました。五平餅を知ってる子・知らない子と半分半分でしたが、先生が五平餅のごはんは白米ともち米が入ってる事、甘いお味噌をつけて焼いて食べる事を教えてくれました。

ジップロックに、炊き立ての白米ともち米を入れてみんなで机の上でペッタン・ペッタンするとお米の形がなくなってお餅のようになりました。みんなでおにぎりの形にすると次はホットプレートでみほ先生が両面こんがり焼いてくれました。こどもたちは「早く食べたい」と注目して見えています。

赤味噌・すりごま・みりん・砂糖が入った甘いお味噌をお餅にぬって・・・いただきます! 『甘くて美味しい』『お餅みたいで美味しい』『初めて食べたけど美味しいから、また食べてみたい』と大好評でした。



🍪 うめ組 パン粉を使ってねんどを作ったよ 🍪

食べ物を使って遊びにつなげる事も、食べ物に興味をもってもらうとても大切な食育です。

今回は、パン粉を使って「パン粉粘土」を作りました。

作り方はとっても簡単、パン粉に水を加えるだけです。

少ない工程の中でも子供たちは様々な遊びを生み出していました。

触る・においを嗅ぐ・手のひらに乗せて丸めるなど。

パン粉粘土をトースターで焼いてみると焼きたてのパンの匂いがお部屋に広がりこどもたちは『いい匂い〜』『お腹すいた』『食べてみたい』とこどもたちの興味が膨れ上がっていました。

